

平成 19 年 7 月 12 日

東京フォーラム

於：湯島聖堂

中齋塾 東京フォーラム 第 4 回講話

恒例によりまして、お聞き致します。

昨晚眠る時に「今日も良かったな、満足したな」と思って眠れた方、どれくらいおられますか？

・・・(沢山手が挙がる)

気持ちよく眠れると、朝すっきり目覚めたと思います。

満足したと思って眠ると、<足るを知る>一日を過ごしたと思って戴いて間違いありません。

逆に腹の立つ事があったり、やり残してしまったり、気になる事があってなかなか寝つけなかった人はおられますか？

・・・(一人も手が挙がらない)

寝る前に、今日はどういう一日だったかを思い出して眠りに付く習慣をつけるとよろしいと思います。

これは基本哲学の「知足」の一日を過ごしたかどうかの確認、判断基準です。

もう一つお聞きします。

先週一週間、うそをつかないで過ごした方はどれくらいおられますか？

・・・(三人手が挙がる)

難しいところですね。

年金問題の枝葉末節の部分や赤城農相の事務所経費の問題等、どうでもいいではないかと思うような事を、マスコミは盛んに報道しています。

誰が考えても両親が住んでいる家を、事務所経費で計上している事は変だなどと思いますね。見苦しい事極まりない。

嘘をつき、それを又ごまかそうとする。

この繰り返しによって嘘を上塗りするから、泥沼に入ってしまうわけです。

政治家は今、そういう所に来ているのだと感じます。

又、マスコミがむきになって報道する事もおかしい。

その陰で、何か別の重大な事を着々と進めている別の勢力があるのではないかと感じます。一度嘘をつく、続けて嘘をつかなければならなくなってしまう。

ですからリップサービスも含めて、嘘をついたかなと思ったら、“ちょっと待てよ”と考える癖をつけると良いでしょう。

以上、基本哲学の「知足」と私の大事な言葉「うそをつかない」を申しました。

もう一つ私の好きな言葉「利によりて行なえば、怨み多し」です。

目先の欲につられて行動をして、後で後悔した経験をお持ちの方はおられますか？

目先の欲につられて飛びつくと、とんでもない失敗をするものです。

お金だけでなく人間関係等々、色々なものがあると思います。

是非何か行動に移る前に立ち止まって、目先の欲ではないか、それとも皆の為にしようとするのか、考える癖を付けると良いでしょう。

では心に残る言葉に参ります。

本日ご紹介するものは「思考の三原則」です。

お配りした参考資料に、本を一冊ご紹介しています。

ものを考える上に大切な三つの原則を述べておきたいと存じます。

第一は、目先にとらわれず、長い目で見ると。

第二は、物事の一面だけを見ないで、できるだけ多面的・全面的に観察する。

第三は、枝葉末節にこだわることなく、根本的に考察する。

『人物を修める』安岡正篤著 竹井出版

私共が生きていく上で、どのように考えたら良いか思い迷う時があります。

それを安岡正篤先生が三つの原則（思考三原則）で書かれたわけです。

私が私淑した木内信胤先生も、表現は違いますが同じ事を言っておられます。

物事を判断する上において、私は判断の三原則〈本質・大局・歴史〉を紹介しています。

これは安岡先生の思考三原則と木内先生の考え方をベースとして考えたものです。

皆さまから何か一つテーマを出して戴いて、具体的に考えてみましょう。

<今の世の中をどう見るか、どのように生き抜けば良いか>・・・というご質問がありましたので、今の世の中をテーマに判断の三原則で考えましょう。

まず本質は、何故？と考えます。

今の世の中の本質とは何なのだろう？

国家を構成している要件は、国民・政府・土地です。

その中の憲法であるとか、具体的なものについて考えてまいります。

今の日本は何なのだろう？ どうして出来たのだろう？

日本の国の誕生を考えてみて、今の世の中は何を一番大事にしているのか、今の世の中の人々は何を生き甲斐にして生きているのだろうかと考えます。

お金でしょうか。

自分にとって大切なものは何だろう？

奥さんが大切に思っているものは何だろう？

大切なものは何か？ 何か？・・・と詰めていくと、お金だと答える人は非常に少ない。

しかし心の奥深い所を詰めていくと、欲が渦巻いています。

今の世の中は、お金で何でも買える状況です。

政治家もお金が欲しいから、何でもしているのではないかと思える状況です。

拝金主義は、人類の共通した敵のようです。

本質論で言うと、今の世の中人間にとって一番大事なものは何かを考える習慣がなくなっています。

これが一番問題ではないかと私は思っています。

お金・地位・名誉・権力・・・そういうものに引きずられる今の世の中はどこかおかしい、と思う所から始めれば良いのです。

どこかおかしいと思ったら、それをずっと考えるのです。

本質は、何故？ 何故？・・・とずっと一つの事を考えるのです。

3分で良いから、その事だけを深く深く掘り下げて下さい。

大局は、色々な人の立場でものを見ます。

身近な事から考えてみては如何でしょうか。

例えば家庭で年金問題を話してみる。

そうすると奥さんの立場からも、子供さんの立場からも、ものが見られますね。

目線を広げて、役人の立場で考える。

政治家の立場で考える。

地域の人々の立場で考える。

マスコミの立場で考える。

学者の立場で考える。

それらをひっくるめて、他の国々がどのように日本を見ているか考える。

出来る限り色々な人の立場で考えます。

そうすると結論は、＜日本の常識は世界各国から見て非常識、世界の非常識が日本の常識であり、日本は非常に変わった国だ＞、になると思います。

遅れているとか進んでいるという事ではなく、異文化の国・理解しがたい国という状況にあると思います。

我々の置かれている立場は、世界から見ると、非常識な事をしているのだと感じます。

色々な人の立場で見ると、それぞれの立場で皆違ってきます。

それをずっと考えていると、最後に何か手ごたえ、共通項が残ります。

それをじっくり考えれば良いでしょう。

歴史で考えます。

これは学ぶしかありません。

日本の国の歴史はどうだったか。今の日本と同じような時代はいつだったか。

そういう視点で歴史を見ると良いでしょう。

似たような歴史が出てきた時に、焦点を当てて、現代との比較をされると良い。

本日の判断の三原則は、＜今の世の中＞という大変大きなテーマになりましたが、皆さんも身近に困っている事があつたら、

本質・・・本来の目的は何かを考える。

大局・・・自分の立場と相手の立場を考え、様々な人の立場で考える。

歴史・・・かつてそういう思いをしたことがあるか思い起こしてみる。

日常生活に直結する判断の三原則でお考えになって下さい。

次回は総合的直観力を申し上げたいと思っています。

私がこのフォーラムでお話しをさせて戴く時に、「知らず知らずの間に自分自身で判断基準が身に付くと良いですね」と申し上げました。

判断基準を身に付ける具体的な方法は「判断の三原則」です。

これは学びを続ける事によって身に付いて来ます。

ですから真剣に学ぼうとしている方が身に付けるには、非常に早い方法です。

もう一つ次回お話しする総合的直観力は、理論的通りに学んでいく方ではなく、興奇心

旺盛で何でも手を出して行って見ると、知らず知らずの間に自分の能力がパワーアップしている、という方法です。

以上で本日の東京フォーラムは終了と致します。

有難うございました。